

## 忠実さの報い Reward of Faithfulness

ヘブライ人への手紙 11 : 6

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神は御自分を求める者たちに報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。

Hebrews 11:6

But without faith it is impossible to please him: for he that cometh to God must believe that he is, and that he is a **rewarder** of them that diligently seek him.  
熱心に

エフェソの信徒への手紙 2 : 8~10

事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。

律法を実行する、善い行いでは自分自身が救われるわけではない。律法は人々の罪を明らかにする役割を持っている。

ローマの信徒への手紙 3 : 20

なぜなら、律法を実行することによっては、だれ一人神の前で義とされないからです。律法によっては、罪の自覚しか生じないのです。

聖書は恵みによる救いが重要であることを強調していますが、同時に、信仰によって生まれる行いも重要であると記しています。

ヤコブの手紙/ 02 章 17 節

信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。

この聖句は、信仰が生み出す行いが重要であることを記しています。

聖書は恵みによる救いが重要であることを強調していますが、同時に、信仰が生み出す行いも大切なことを示しています。つまり、救いは恵みによって与えられるものですが、それによって生まれた信仰によって、行いを通して神に仕えることが求められている。

### 【参考】報い／酬い

辞書で「報い／酬い」を調べると、日本的には、悪業に対する厳罰といった、悪い行為の結果についてを意味しており、悪い意味合いが強い。

1. ある行為の結果として身にはね返ってくる事柄。善悪いずれについてもいうが、現在では悪い行為の結果についていうことが多い。「悪行の一」
2. 労苦に対するつぐない。報酬。
3. 前世の善悪の行為の結果が、現世で現れること。因縁によって果報を受けること。
4. 仕返し。返報。

### 【参考】「恵み」は十字架(神様)の思い

十 + 思 = 恵